

使用ツール

プログラミングソフト（Scratch）
機械学習ソフト（Teachable machine）
Teams

活用シーン

- 以前考えた熱中症対策システムを再評価し、人工知能の活用を考えることを通して、熱中症が起こりやすい状況や兆候をつかめるような画像や体の動きをコンピュータに学習させ、よりの確に安全性を高めるシステムにする改善策を考える。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 各グループで熱中症になりそうな人の様子を撮影し、ぐったりしている人に呼びかけたり、水を飲む回数が少ない人に水を飲むように促したりするシステムを考えることができた。
- 迷ったときは、Teamsで他班のフローチャートを参考にしたり、教師が準備した復習動画を見たりして、学び続ける姿があった。

